

校長のつぶやき

校長室便り第5号

令和元年5月7日 山内

10連休明け、大きな事故もなく岩高生が学校に戻ってきました。各学年の廊下からは容儀指導中の元気な声が聞こえてきました。やはり学校は生徒が主役、生徒がいなければ岩高ではありません。岩高生の皆さん、連休明けも「凡事を徹底」してください。



連休中は野球部をはじめ多くの運動部が試合や練習に取り組んだと思います。

27日(土)に予定されていた野球部の敗者復活戦は雨のため29日(月)鹿島台中央球場に順延されました。相手は甲子園に春夏一度ずつ出場経験のある強豪・利府高校。結果は5回コールドで敗退しましたが、岩淵先生・工藤先生お二人は「よく頑張ったと思います」と話されました。鹿島台商・加美農・一迫商の三校の選手や先生方にも感謝してこれからも夏に向けて頑張ってください。

今朝、令和になって最初の校門に立って挨拶を交わしましたが、4月から気付いていたことがあります。それは、登校中にイヤホンで音楽を聴きながらという岩高生が少なくないということです。音楽を聴くこと自体は悪いことではありませんが、交通事故等安全面を考えると避けた方がいいと思います。

理由はそれだけではありません。歩きながら耳にすることを大切にしてほしいのです。岩高生に限らず、現代の若者は、便利すぎて「本来人間が持つ感覚を失いつつある」とある研究者は警笛を鳴らしています。つまり五感を磨く場所がないのです。だから朝夕の徒歩での通学は大切になります。だから歩くのでなく、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚と五感を磨けば第六感につながっていきます。すなわち正しい反応ができるのです。毎日この感覚を意識して通学していると風景の変化にも気付くはずです。歩いていても花を見て美しいと感じないと文章にできません。文章にできたとしてもその美しさは他には伝わりません。自宅から駅まで、駅から岩高までこれだけ自然豊かな地域はそう多くはありません。都会のビル街では養えない感覚です。岩高生の皆さん、是非意識してみてください。

私はこの連休中、尊敬する元上司久力誠先生にお目にかかる機会がありました。仙台のナンバースクールを超進学校の一貫校に作り替えた学校を含め公立校の校長を6年、仙台の私立校を進学校で超人気校に作り替えられた校長として7年と宮城県の「平成最後の大校長」という方です。校長としての極意を伺おうと思っていたら答えは簡単でした。「民ちゃん、生徒さんを大事にしてください。」そうです、学校は生徒が主役です。上司の教えの通り、岩高生一人一人を大切にこれからも頑張ります。今週は地区総体に向けて部活動強化週間です。総体壮行式で言った「負けることがスポーツの醍醐味」ですから、楽しんでください。上手くいかなかった時が大切です。では今回の校長のつぶやきはこれでお終いとします。



「休み明け 再びはじまる長距離は 平成令和変わらず 十六里なり」